

海洋教育ネットワーク通信 NO.44 2019年2月14日



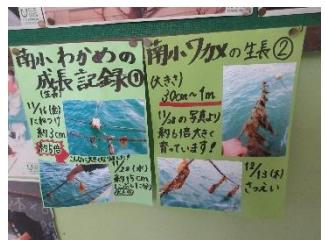
1月30日（水）に、南下浦小学校の4年生が、保護者に向けて、1年間の海洋教育の成果を発表しました。テーマは「南下浦の海藻について調べよう」です。

子どもたちは、ワカメグループ、ワカメの種付けグループ、ワカメの生長グループ、ところてんグループに分かれて、それぞれが調べたことを発表しました。

ワカメに熱を加えると緑色になる理由や、ところてんの作り方などを分かりやすく説明していました。

保護者からは、「ここまで詳しく調べているとは思わなかった」「海洋教育フォーラムの時より、発表がうまくできていた」などの感想が語られました。

南下浦小学校の1Fの廊下は、「海洋教育通り」になつていて、全学年の海洋教育の取組が掲示されていました。



1/26 海洋教育フォーラム 各学校の発表より その2 （以下は、ポスターセッションです。）

③ 旭小学校4年生 「淡水魚と海水魚」

子どもたちが、サナダメズヒキガニやアカグツなどに扮して、動画等を交えて説明しました。みんなで作成した「旭小水族館」の版画も披露しました。

また、海水魚と淡水魚の違い（浸透圧が大きく影響するらしい）について説明し、塩分濃度を低くして、両方が住める環境をつくったことも発表していました。



④ 初声小学校4年生 「初声大好き 海大好き」

自分たちが体験した海藻おしばの実物や、海の生き物を題材にした詩や版画を展示しました。調べた海の生き物を意欲的に表現した観察カードも興味深かったです。また、理科や国語と関連付けた海洋教育の授業の様子も紹介しました。



⑤ 岬陽小学校3年生 「マグロの秘密」

延縄漁や魚市場、冷凍工場などについて見学したこと、学習したことを発表しました。実際に延縄の様子や魚市場の入札の仕組についても、実演を交えて説明したので、とても分かりやすかったです。実物大の紙で作ったマグロも印象的でした。



（文責 事務局長 渋谷）

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所 854-9443まで